

令和8年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

（１）総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	V都市基盤の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	3 快適な都市環境の整備を進める	近年、地震や水害などの災害が多く発生しており、今まで以上に水道水の安定供給が重要となってきました。特に、浄配水場から避難所や基幹病院などの重要給水施設に繋がる水道管の耐震性は不十分のため、今後、基幹管耐震化に取り組む必要があります。	重要給水施設配水管は、災害時における常総市の指定する避難所として重要な施設及び基幹病院等に給水するための配水管であり、4 か所の配水場を起点として重要施設までの過去に布設した管路の内特に耐震性の低い硬質塩化ビニル管を耐震性の高い管種に更新するものとします。 安全な水を供給するために、日々の水質維持に取り組めます。
	施策	4 上水道		
	施策内容	水源確保と水質の適正管理		
	その他、拠法令及び分野別計画等	常総市水道ビジョン		
事務事業名	配水管耐震化事業			

（２）アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

（３）インプット（投入）

No.	アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 8 予算額	R 8 決算額
	活動名・事業名 （対象年）	R 8 活動・事業内容	指標名（単位）	R 8 目標値	R 9 目標値		
				R 8 実績値	R10 目標値		
①	配水管耐震化工事の実施（R 8）	耐震性の低い配水管を耐震性の高い管に更新し、災害時でも安定して水を供給できるようにします。	耐震管路更新延長（Km）	0.9	—	288,871 千円	千円
②	配水管末端部の排泥作業（R 8）	配水管内の水が滞留による濁りや塩素濃度が低下しないよう、日常的に管路末端部で排泥作業をすることで、水質の維持管理を行います。	作業日数（日）	120	—	0 千円	千円
③	浄配水場及び末端給水施設での水質検査（R 8）	浄配水場から離れている末端給水施設で塩素濃度を毎日計測することで、水質が維持されているか確認します。	—	—	—	0 千円	千円
④	水源（地下水取水井）の水位観測（R 8）	茨城県地下水の採取の適正化に関する条例に基づき地下水の保全と適正な採取を行うため、水源（地下水取水井）の水位を常に観測します。	—	—	—	851 千円	千円
⑤	水道施設の運転状況監視（R 8）	水道施設の運転状況を常時監視し、上水道の安定した給水を図ります。	—	—	—	700 千円	千円
⑥	水道施設設備の定期点検の実施（R 8）	取水井や浄配水施設の電気機械設備等を定期点検し、緊急性の高い修繕及び設備更新を実施します。	—	—	—	23,800 千円	千円
⑦						千円	千円
⑧						千円	千円
⑨						千円	千円
⑩						千円	千円

（４）アウトカム（成果）

成果に関連する上記（２）の活動名・事業名（No.）	指標名（単位）	指標の設定理由と目標値の根拠 （目標値を達成することにより市として何が達成されるか）	R 7 現状値	R 8 目標値	R 8 実績値	目標年度
						目標値
①	耐震適合性のある管路による配水を受ける重要施設の数（施設数）	重要給水施設への管路が耐震化することで、災害が発生しても、水を送ることが可能となります。重要給水施設耐震化計画の目標数を設定しています。	14	20		令和8年度 20
⑥	水道施設設備の更新（設備数）	老朽化した設備を更新することで、安定して水を供給することができます。更新数は、前年度の定期点検結果に基づき、更新の必要な設備を選定しています。	5	6		令和8年度 6

（５）目的・成果の達成に向けた点検・改善

業務の振り返り		改善の余地	今後の方向性	
		☐ コスト		
		☐ 活動		
		☐ 成果		
		☐ その他		